

帯広市コミュニティ・スクール通信 Vol.4



帯広市では、社会総掛かりで子どもの学びと育ちを支える仕組みづくりを進めています。コミュニティ・スクールは、学校・家庭・地域が目標を共有して、ともに子どもを育てていく取り組みです。

導入校の取り組みをご紹介します

清川小・清川中、広野小・八千代中の4校は、10月よりコミュニティ・スクールを導入しました。今回は広野小・八千代中での取り組みをご紹介します。

広野小学校と八千代中学校では、10月に合同のコミュニティ・スクール協議会を設置し、10月27日に1回目の会議が開催されました。

会議では、両校の校長から説明のあった学校運営の基本方針を承認した後、3つのグループに分かれて模造紙と付箋を使って、「地域の子も達が将来どのような大人になってほしいか」をテーマに交流し、発表し合いました。会議は終始、和気あいあいとした雰囲気が進められ、多くの前向きで積極的な意見が出されました。



会議の開催にあたっては、事前に保護者等に以下の内容のアンケートが行われ、委員だけではなく幅広い方々から意見をいただきました。

- ① 子どもたちが20～50歳になったとき、どのような人になっていてほしいか
- ② 中学校卒業までに、どのようなことができるように育ててほしいか
- ③ 成長の各段階で何ができるようになってほしいか、どのようなことを学ばせたいか、どのような機会が必要か（小1～4、小5～中1、中2～中3）

今回の協議内容やアンケート結果をもとに、次回以降の会議で「目指す子ども像」を協議し、既存の活動と結び付けた話し合いが行われる予定です。

帯広市には、子どもの健やかな成長を支える多くの団体等があり、校区内だけでもPTA、生涯学習推進委員、児童委員、学校支援ボランティアなど様々です。

コミュニティ・スクールでは、まず各地域でどのような方々がどのような活動を行っているのか、互いを理解し合うことが大切です。

今回の会議では、それぞれの委員が今年度の活動状況等を報告し合い、互いの理解を深めていました。

研修会を開催しました

コミュニティ・スクール協議会委員・学校評議員向け研修会を12月18日に開催しました。当日は40名の方々にご参加いただきました。

コミュニティ・スクールについて、他の自治体での取組事例や成果など具体的な内容の研修を要望する声をいただいていた。

そこで今回は、講師として前浦幌町教育委員会教育長の久門好行氏をお招きし、全国的にも高い評価を受けている浦幌町での取組みをご紹介いただくとともに、これからの学校と地域の姿についてお話いただきました。



浦幌町における義務教育9年間を見通したふるさと教育の充実や「スマホ・ゲーム機使用のルール」宣言などの具体的な取組みの他、コミュニティ・スクール導入による学力向上につながる成果などをご紹介いただきました。



今後の動き

帯広市では学校・家庭・地域の連携・協働を推進し、全ての市立学校でのコミュニティ・スクール導入を目指しています。（現在41校中12校で導入済）

コロナの感染状況等を見ながら、様々な機会に説明会等を行っていきます。ぜひご参加ください。

あとがき

「GIGAスクール構想」をご存じでしょうか。児童生徒に1人1台の端末と高速大容量の通信ネットワークを整備することにより、習熟度等に応じた一人一人に公正に個別最適化された教育の実現を目指す政策です。

帯広市では、令和2年度に端末と校内LANを整備し、令和3年度から活用できるよう準備を進めています。

しかし、誤解してはいけないことは、デジタル技術だけで教育は完結しないということです。アナログな人と人との関りや協働、様々な実体験が学びを充実させます。デジタルとアナログ、それぞれの良さを最大限活かした教育が求められています。（担当：西尾）

【令和3年1月12日発行】

帯広市教育委員会 学校教育部 教育総務室 学校地域連携課 TEL：0155-65-4162

帯広市 コミュニティ・スクール

検索